

茶ヶ床園地～かがり火盆地～貝殻山～芳ヶ谷～桶ヶ辻～周防台～

青龍窟～鬼の唐手岩～中峠～周防台～中峠～茶ヶ床園地

茶ヶ床園地からの 周防台

2021年4月24日

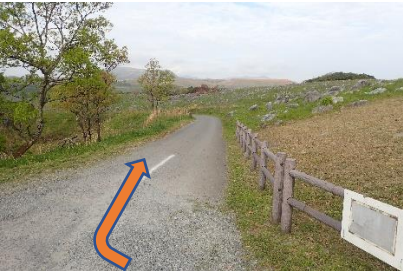
今回はまだ歩いたことのないルートがいくつかあるので、そのルートを繋ぎながら周防台を目指すことにした。その第一目標のルートは周防台山頂から青龍窟に下るルート。人があまり歩かないバリエーションルートとなるが、周防台の裏側がどのようなになっているのか興味があり、思い切って挑戦することにした。周防台の裏側の傾斜がこれほど酷いとは思わなかった。



鬼の唐手岩から周防台を眺める。今日は2回も周防台の山頂を踏んだ！

<コース概要>

1、茶ヶ床園地 7時31分 ～ 2、かがり火盆地への入口 ～ 3、かがり火盆地 ～
4、貝殻山～ 5、芳ヶ谷 ～ 6、桶ヶ辻 ～ 7、周防台 ～ 8、青龍窟 ～
9、鬼の唐手岩 ～ 10、広谷湿原 ～ 11、中峠 ～ 12、周防台 ～
13、中峠 ～ 14、茶ヶ床園地 12時18分

	1、茶ヶ床園地 7時31分 スタート 先着車は3台。車を降りると少し肌寒い。登山靴を履きながら登山ルートを考える。 平尾台の主要ルートはほぼ歩いたが、まだまだ歩いたことのないルートもある。 今日は気になっている4つの未踏ルートを繋ぎながら歩いてみたいと思う。 気合を入れてスタート！
	トイレ横を右へ 7時32分 この角からおおよそ100歩で・・・。  分岐へ
	2、かがり火盆地への入口 7時33分 柵の切れ間から左に入る。  100歩
 誰もいない静かなフィールド	 オカオグルマ



3、かがり火盆地 7時37分 かがり火盆地の山側を歩くルート



自然公園法でワラビの採取は禁止です！



成長して葉になったワラビ



貝殻山方面へ 7時42分 左へ
 右へ進めば車道に降りることになり、車道を
 左奥に進むと千仏鍾乳洞へ続く。
 これから貝殻山へ登って。その後は貝殻山の
 反対側にある芳ヶ谷へ下る。そして、その延
 長線上にある斜面の防火帯を辿って桶ヶ辻
 を目指す。この防火帯のルートはまだ通して
 上ったことが無いので楽しみである。



ワラビ



ヤマフジ



カノコソウ



キジムシロ



貝殻山の右下に登山道 7時47分



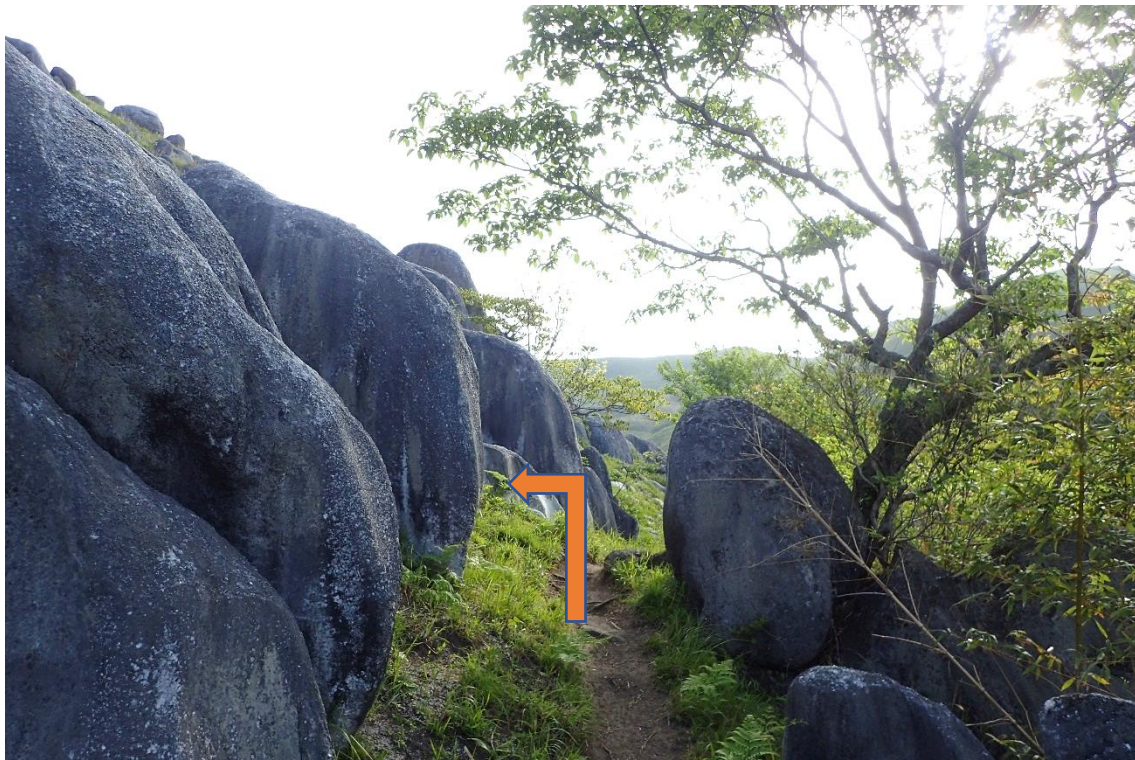
越えると芳ヶ谷へ通じる 7時48分



アマドコロ?



シラン



上り詰めたところに木と岩がある 7時59分 ここを目印にして左に上ると貝殻山山頂



この石灰岩の間を上って山頂へ 7時59分 踏み跡を辿れば大丈夫！



小休憩

誰もいない山頂周辺をプチ探索



周防台方面

貝殻山の山肌は岩の鎧



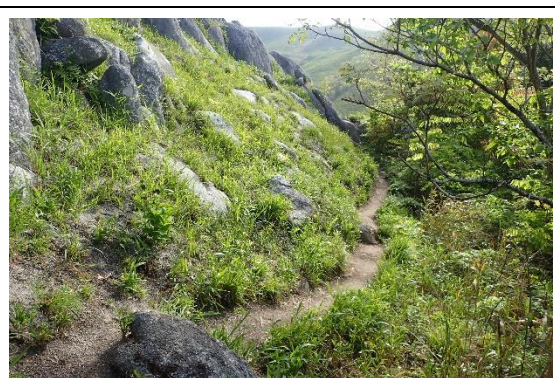
貝殻山から芳ヶ谷を覗きこんで、これから歩く防火帯を眺める。(矢印はこの後辿るルート)



山頂碑からの風景 8時14分 山頂を歩き回ってちょっと満足。さて先に進もう。



目印の木の場所に下ってきた 8時18分



細い道を進んで行くと… 8時19分



芳ヶ谷へ下るルートはお花畑



テカテカ光る、ウマノアシガタ



アザミ



カノコソウ



ヤマフジ



マムシグサ



徐々に下って木陰になると・・・ 8時23分



?



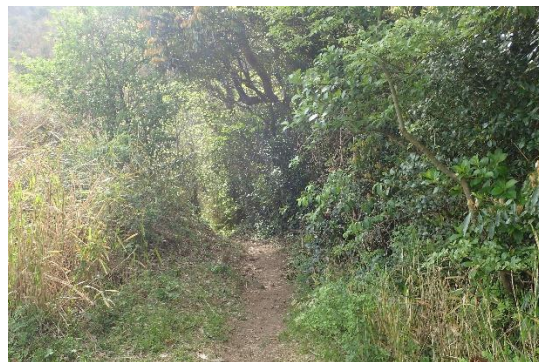
ムラサキケマン



これもムラサキケマン？



下り切ったら目の前に防火帯 8時24分



右は天狗岩に通じる森の入り口



左後方の貝殻山を見上げる 8時24分 つい10分前まであの山頂をウロウロしていた

ここから桶ヶ辻を目指して防火帯を上る。結構な急登だ！



5、芳ヶ谷 8時24分

当初、ここから上る際は、防火帯のどこを歩いてもいいと思っていたが、右手の防火帯の斜面を見上げると、思ったより草が多く、このまま上ることに躊躇した。そこで、先ほど貝殻山の山頂から見下ろした際、防火帯の左側から伸びるルートを確認していたので、そのルートを辿って上ることにした。



急登の防火帯を見上げると草が結構茂っている。 8時26分
草の中を歩くことに戸惑い、貝殻山山頂から見たルートを通ることにした。



芳ヶ谷の中央部へ進みルートを探す



<貝殻山から見たルートまで移動>

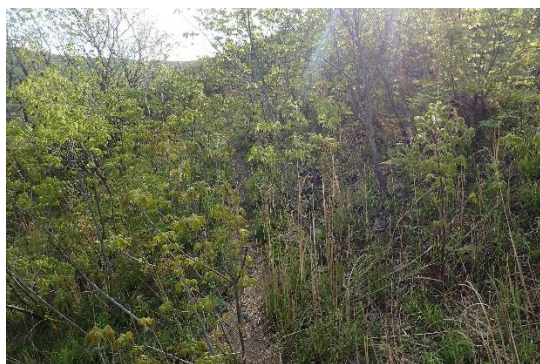


薄い踏み跡から上って行くと…

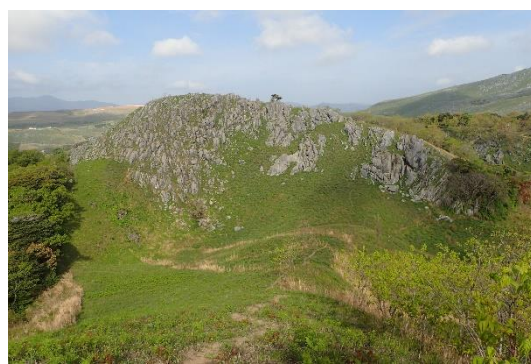


しっかりした登山道に合流 8時29分

どうやら登山道に沿って木が植えてある。この木を目印に上って行くと大丈夫だ！



一旦茂みに入るがすぐに脱出 8時31分



急登を上る途中で振り返る 8時32分



更に高度を上げて振り返る 8時35分 ここに立つのは2回目



←3月14日(40日前)の景観と比較すると以前、桶ヶ辻からルート探索でここまで下ってきたことがある。写真を見て分かるように、その時と比べて台地の色が全く違う。40日経つと、草が生えて景色が一変。野焼きは2月13日だったので、野焼き後70日で台地のグリーンは蘇っている。夏場はもっと草が茂ってくるだろう。



更に上ると桶ヶ辻が見えてきた 8時40分



登山道の真ん中に・・・イノシシの糞か？



左を見ると周防台への稜線



ニガナ



主稜線に合流 8時48分 右へ



桶ヶ辻まであと少し

今日の目標は周防台だが、ちょっと桶ヶ辻の頂上に寄り道。



6、桶ヶ辻 8時52分 568m
朝が早いのか、パラグライダーは飛んでいない。少し景色を眺めて周防台へUターン。



風が強かった



吹き流しが風に揺れる



芳ヶ谷から上ってきた稜線



芳ヶ谷への分岐に戻ってきた 8時58分



ニガナ



サルトリイバラ



ナルコユリ？



キジムシロ



フデリンドウ



周防台への気持ちの良い稜線 9時05分



周防台への最後の上り 9時08分



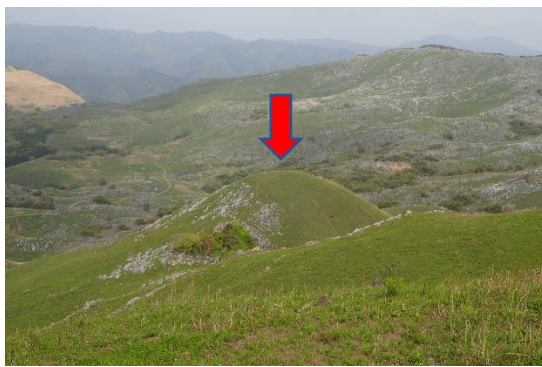
歩いてきた稜線を振り返る 9時10分



山頂はもうすぐそこだ！



ワラビの葉

	7、周防台 9時14分 606m 周防台に登頂。茶ヶ床園地から1時間43分だった。山頂から景色を眺める。  水分補給
 貝殻山が小さく見える	 周防台の下にある権現山

さあここからが本日のメインイベント。周防台の裏側に下るルートで青龍窟を目指す！



周防台の山頂標識から広谷台方面へ伸びる未踏ルートへ 9時25分 防火帯がある



防火帯の左端に薄い踏み跡



少し下って振り返る。立派な防火帯だ！

周防台の山頂からは見えなかったが、少し下ると防火帯が続いている。



鬼の唐手岩が見える 9時28分 この防火帯を辿れば青龍窟に辿り着くのか？
それにしてもこの防火帯の傾斜は半端じゃない！



最初の下り道はビビッてパス 9時28分



防火帯を横断して森に沿って下る事に



森に沿って道がある 9時30分 ここからでも斜度は変わらず酷い
 落ち葉が降り積もって滑り易い急登を慎重に下る。防火帯の先を見ると遠くに鬼の唐手岩。
 急斜面を下りながら、鬼の唐手岩に着いた時に、この斜面を見てみようと思った！



森に沿って下る道もあるが・・・左へ

下る途中に分岐 9時38分
 斜度も緩やかになりホッとしていると、左に
 上る道があった。その道は防火帯の左側に
 沿って進む道に通じている。
 このまま真っ直ぐ右の森に沿って下っても
 よいが、上の道の方が明るいし、景色も良さ
 そうなので、左に進むことにした。
 進行方向は変わらず、この谷を下る事に違
 いはない。



防火帯の反対側へ上る



クサイチゴの花



下ってきた急斜面を見上げる 9時38分 少し緊張がほぐれる





ズルズル滑りながら下り、振り返る



この先は大丈夫そうだ！ 9時47分

この結果、最初から最後まで右の森に沿って下る方が歩き易いと分かった。
防火帯の左を歩くと、景色は良いが急斜面満喫コースとなる(笑)



カノコソウが癒しとなる



森に沿った防火帯は続く 9時57分



鬼の唐手岩が左にチラッと見える 9時58分 広谷台に通じる道も確認



見覚えのある道を見て安堵



青龍窟への道に合流 10時01分 右へ



合流地点から左を見ると道標が見える



右に下れば青龍窟だ！ 10時01分



8、青龍窟 10時05分 周防台山頂から30分で到着。意外と早かった。



洞窟入り口から参拝 10時07分 参拝後、往路を戻り鬼の唐手岩を目指す！



シロバナタンポポ



下ってきた防火帯を左に見ながら歩く



広谷台への分岐 10時15分 右へ
3ヶ月前、この標識にスズメバチ注意の情報が貼ってあったが、剥がれていた。大丈夫？



半信半疑



鬼の唐手岩を見ながら上る 10時15分



鬼の唐手岩



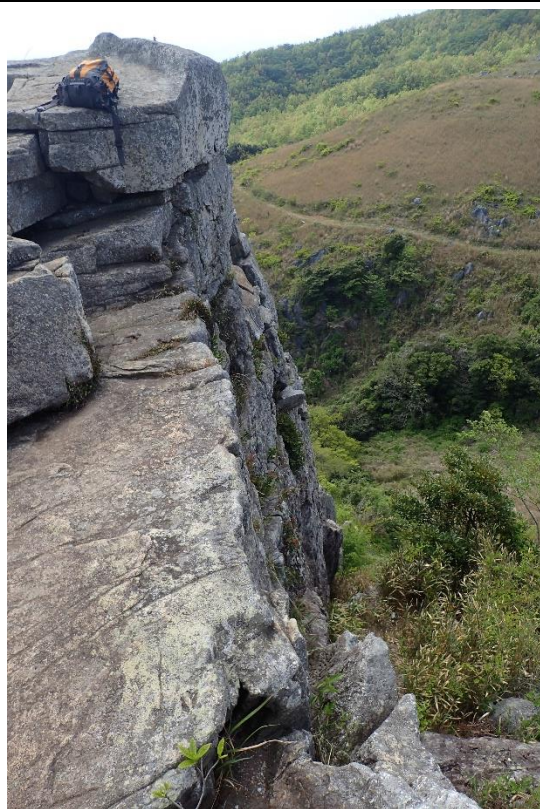
上り詰めて左へ 10時20分



鬼の唐手岩越しに周防台 10時22分



鬼の唐手岩から周防台を望む 10時25分 ビビリながら下った二つの急斜面を見ると…
本当にあんな急斜面を下ったのだろうか？ 平尾台NO. 1の急斜面かもしれない。

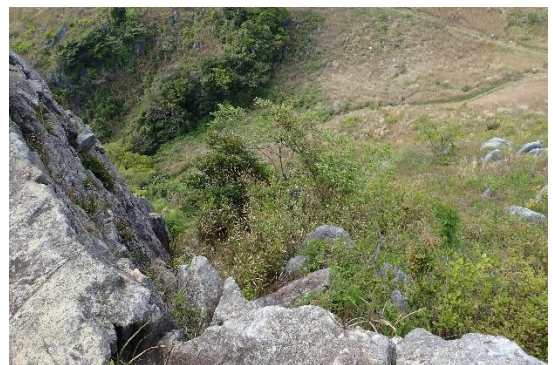


この崖下には滝不動がある。
ロッククライミングも行われる場所。

9、鬼の唐手岩 10時26分



阿蘇大噴火の際に流れてきた溶岩だとか・・・



下を覗くと高さ70mの断崖



未踏ルートで広谷湿原へ 10時32分

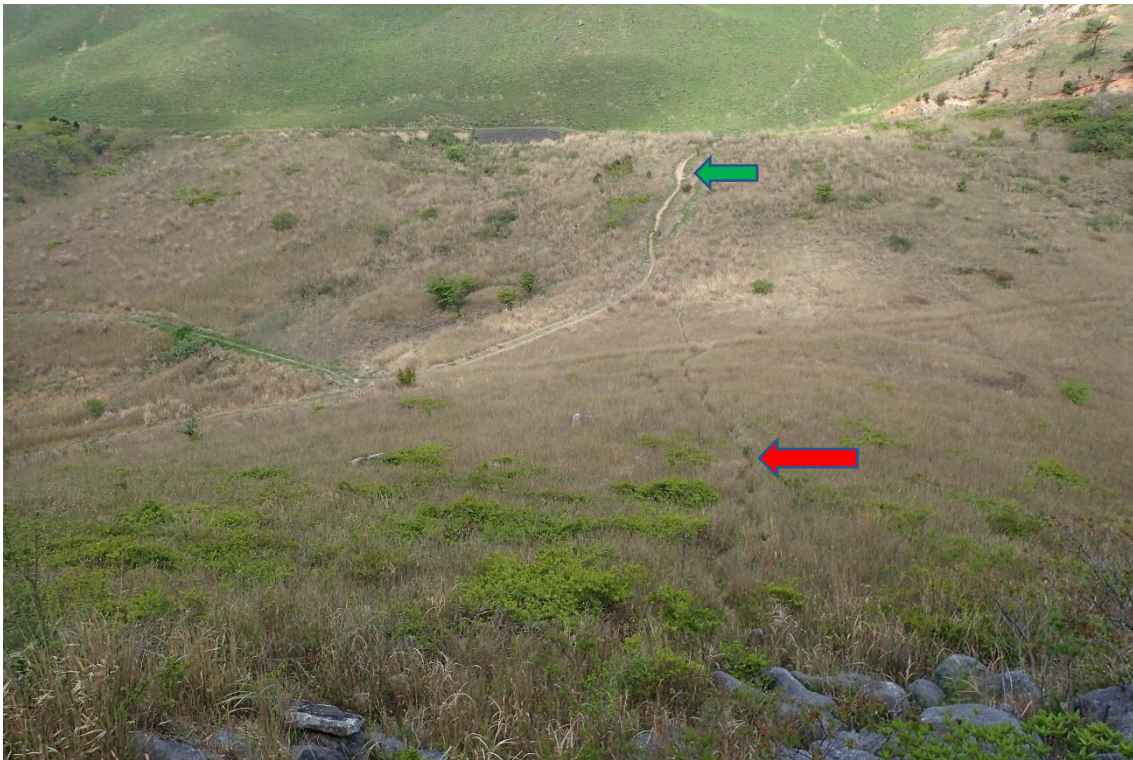
いつも**広谷台方面**から鬼の唐手岩に来ていたが、以前ここで休憩している際に自分とは逆の方向から歩いて来る人がいた。その時、違うルートもあることを知ったが、そのままになっていた。ならばそのルートを探しながら歩いてみよう、往路とは逆の**左方面(オレンジの矢印)**に進むことにした。



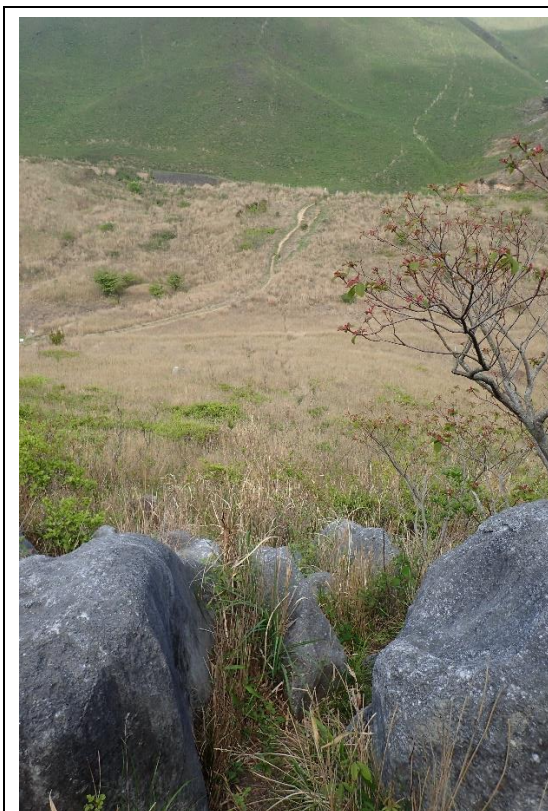
すぐ左に下る道があるが、ここは直進。



踏み跡を辿り崖の近くまで進む 10時35分



崖下を見るとカヤトに埋もれるルートが見える 10時35分 車道からのルートも見える



目標(車道)が見えるので安心して進める

踏み跡を辿り広谷湿原へ 10時37分

広谷湿原や広谷台は野焼きの対象外なので、枯草がそのまま残っている。

一方、車道から向こうは野焼き後70日で、今や黒焦げから鮮やかなグリーンに変身。色がハッキリ分かれて面白い。



岩がある急斜面をゆっくり下って行く。若干藪漕ぎもあるが、苦にならない。この道は車道から鬼の唐手岩を目指すには最短。ルート探索は上りより、下りの方が探し易い。



未踏のルートで直接広谷湿原に下ってきた 10時38分 初ルートで新鮮な眺め



振り返ると岩が天から降ってきそうだった 10時38分 道はハッキリしていた



10、広谷湿原 10時40分

胸の高さまで伸びるカヤトを掻き分けて進む。そして車道からの道に合流して右へ。



迷路みたい



車道に向かって歩く 10時42分



車道へ出て左へ 10時44分



広谷湿原への分岐 10時44分



中峠へ向けて車道を歩く



セーフティーコーン



左端は切れ落ちているので注意！



広谷湿原方面を見ながら歩いたコースを確かめる



11、中峠(大平山への分岐ではない) 10時52分

ここは大平山方面への標識がある中峠の分岐と、広谷湿原への分岐のほぼ中間地点である。

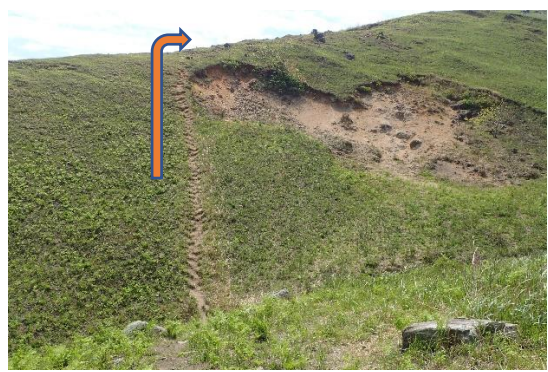
広谷湿原方面から車道を歩いて行くと、周防台側に柵が見えてくる。

柵の切れ間から入ると、目の前の斜面にハート♡マーク。私にはそう見えるが・・・。

これから辿る道は、周防台へ一直線の稜線。ハートマークの左を上ればその稜線に乗る。



この先を一旦下って…



上り返すと稜線だ！



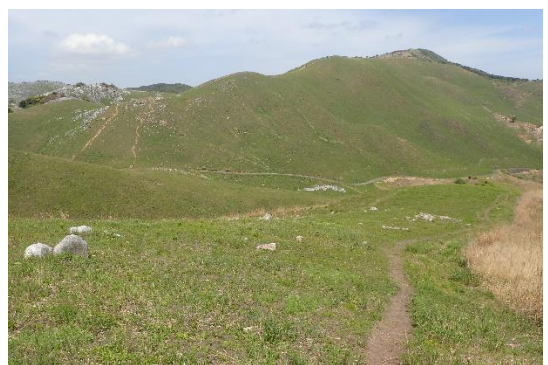
これから歩く稜線を見上げる 10時57分



左下に広谷台と鬼の唐手岩 10時57分



美しい防火帯 11時02分



かなり上ってきた 11時04分



中峠からの別のルートと合流 11時15分



山頂が見えてきた 11時16分



12、周防台 11時19分 本日2度目
山頂では小さな子供連れの家族が、楽しそうにお弁当タイムだった。



606m

山頂で景色を堪能。特に先ほど下った青龍窟方面の防火帯を眺めて達成感を味わう。



山頂碑から往路を少し下り岩のある分岐から中峠を目指す 11時23分



この岩から下ると中峠 11時26分



この分岐の岩の上で🍱おにぎりタイム



ヒバリの囀る中、大平山を眺めながらのんびり。その後、重い腰を上げる。 11時44分



少し下ると、前方の権現山と中峠の分岐が現れる。 11時46分 右へ



正面は大平山、下を見ると道は中峠の分岐まで続いている 11時51分



13、中峠 12時00分 左へ
周防台の分岐から15分程で下ってきた。



車道へ



ライオン岩を見ながら歩く 12時01分



右を見ると鬼の洗濯岩 12時03分



この木を通り過ぎて左を見上げると・・・



権現山へのルート 12時07分



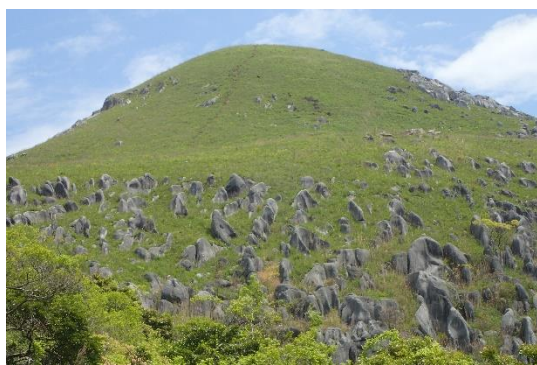
車道の急カーブに差し掛かる 12時07分



柵の切れ間から下ることに 12時07分



正面は茶ヶ床園地。このショートカットのルートを歩くのも初めてだ！ 12時08分



権現山を見上げる 12時10分



歩きやすい道



車道に飛び出すとそこは… 12時12分



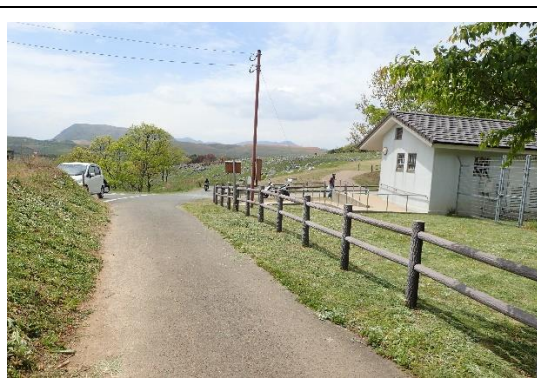
車両進入禁止ゲートの手前だった！



ゲートを越えて振り返る 12時14分 本日の山歩きはこれで終了



進入禁止のゲートを越えると林に入る



林を抜けると茶ヶ床園地のトイレ



14、茶ヶ床園地 12時18分

トイレを右に曲がると、駐車場へ無事にゴール。所要時間は4時間47分。スマホの歩数計は13997歩だった。

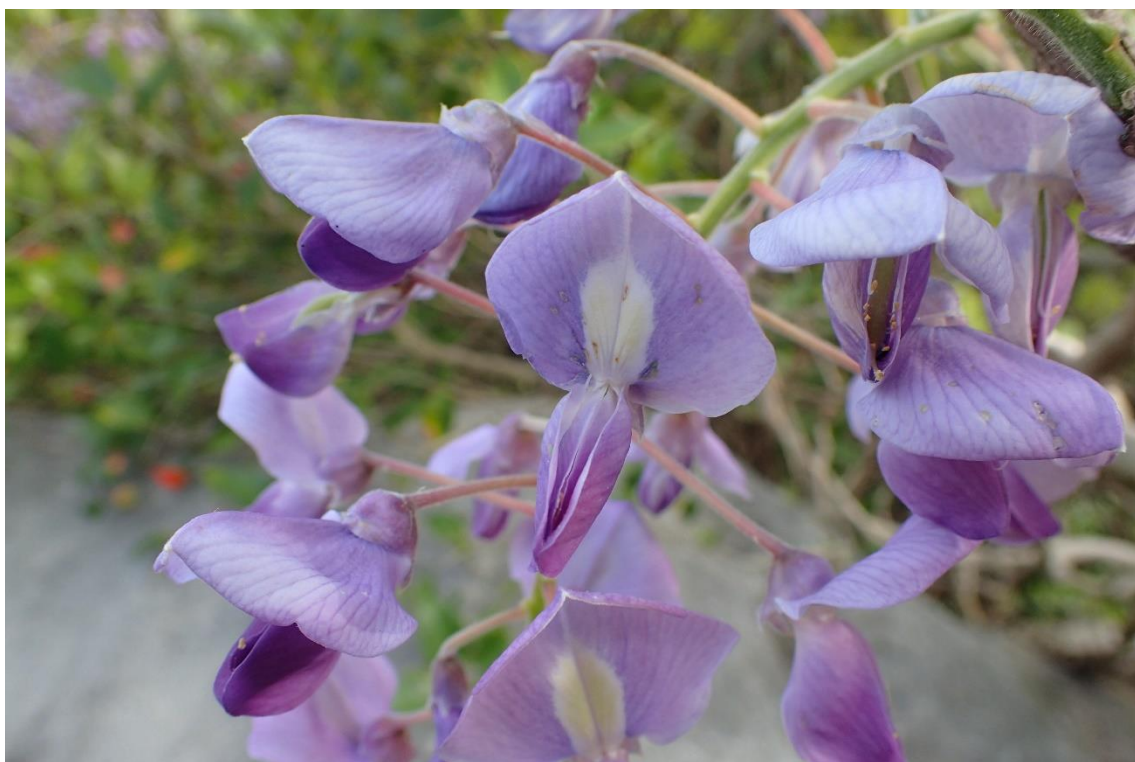
お天気も良く、登山者も多かった。そのせいか駐車場は満車状態。それにしても今日は長短未踏ルートを4つもクリアして満足な一日だった。

お疲れさまでした。

本日出会った花



カノコソウ



ヤマフジ



アマドコロ? ナルコユリ?



シラン



ニガナ



クサイチゴ



オキナグサ



マムシグサ